

片桐 直人

高等司法研究科・准教授

【研究】

財政憲法領域を中心に研究を進めた。平成30年度は、とくに、従来の憲法解釈を再検討し、条文解釈を中心に新たな基軸を打ち出すことを試みた。その成果は、共著分担執筆1件、論文2件、判例評釈1件として公刊したほか、論文1件を公表予定である。また、墓地埋葬法の研究にも取り組み、葬送の自由の構造について私見をまとめた。この成果は、論文1件として公表した。さらに、AI等の先端技術と憲法との関係についても考察をし、シンポジウムでコメントをしたほか、翻訳書1件を公刊予定である。

【教育】

高等司法研究科春～夏学期開講の憲法基礎1では、未修者が次年度に憲法応用を順調に履修できるよう、橋渡しとなる講義を心がけ、教員表彰をされた。また、教育教材の公刊等も行い、事例検討会の様子が法学セミナーに掲載された。

【管理運営】

全学ハラスメント相談員として、ハラスメント相談に対応した。情報公開・個人情報委員会委員として、会議に出席し、制度運営に貢献した。高等司法研究科FD・教育企画委員として、FD等の実施に関与した。法曹養成コースに関するワーキンググループに委員として参加し、法曹養成コースのデザインを検討した。

【社会貢献】

宗教学会、日本財政法学会でそれぞれ理事を務めた。財務省会計制度検討会の構成員として、会計制度の検討を行った。自治総合センター21世紀地方自治のあり方検討会の構成員として、地方自治制度の検討を行った。宇治市情報公開審査会で会長を務めた。枚方市情報公開・個人情報保護審議会で副会長を務めた。大阪市行政不服審査会委員を務めた。大和高田市個人情報保護運営審議会委員を務めた。高槻市個人情報保護運営審議会委員を務めた。